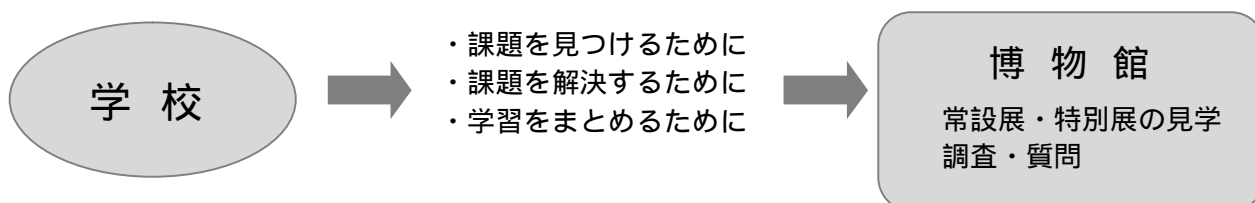


目 次

- ・ 学校との連携スタイル P2
- ・ 【見学】 P3 ~ P4
- ・ 【体験学習】・【出前授業】 P4 ~ P6
- ・ 【資料貸出】 P6 ~ P7
- ・ 本館のご案内 P8
- ・ 歴史民俗資料館のご案内 P9
- ・ 富士川民俗資料館・小休本陣常盤邸のご案内 P10
- ・ 広見公園内ふるさと村のご案内 P11
- ・ 富士市立博物館利用申込書 P12
- ・ 資料借用申請書 P13

富士市立博物館では、以下4つのスタイルで学校活動の支援を行っております。

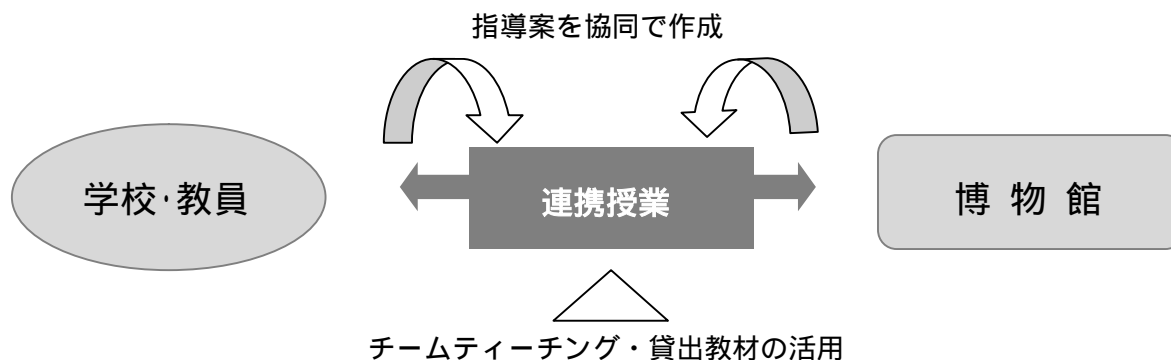
(1)博物館の見学を中心とするスタイル



(2)博物館の資料や人材を活用するスタイル(体験学習)



(3)出前授業のスタイル

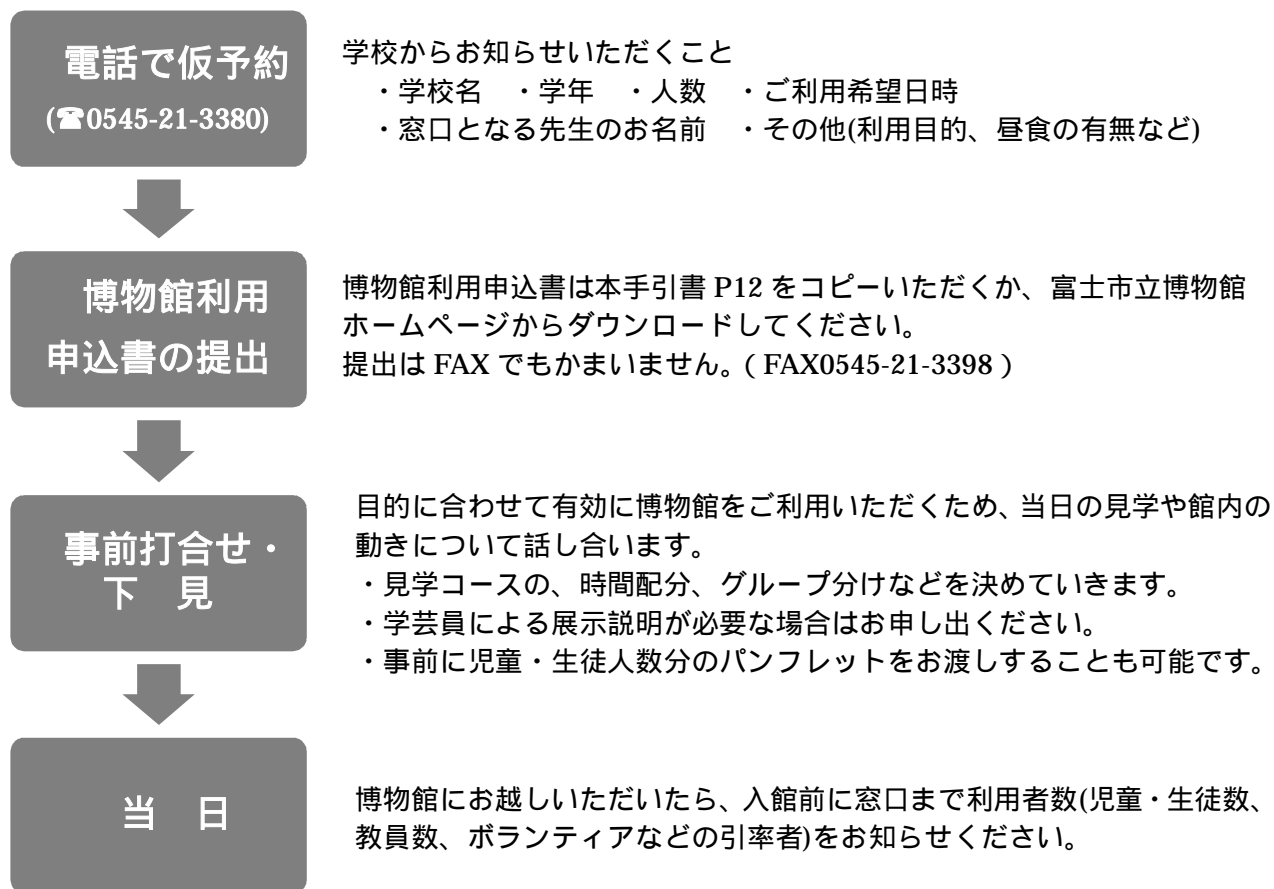


(4)博物館の貸出資料を学校の授業で活用するスタイル



【見 学】

利用の手続き



入館料について

富士市内の小中学校	児童・生徒、教員、ボランティアなどの引率者は全員無料
富士市以外の小中学校	児童・生徒 20名以下の場合、1人につき50円 20名以上の場合、1人につき30円
	教員、ボランティアなどの引率者は無料

見学の際の注意点 (来館される前にあらかじめ児童・生徒の皆様にご指導願います。)

- ・展示物にはお手を触れぬよう、お願いします。(一部展示資料は触ることができます。)
- ・展示物の写真撮影はご遠慮願います。
- ・パソコン画面、操作ボタンなどは丁寧に扱ってください。
- ・館内で走ったり、騒がないでください。他のお客様のご迷惑にならないようお願いします。
- ・館内での飲食はご遠慮ください。
- ・公園見学後の入館は、靴の土をはらってから見学してください。
- ・忘れ物がないよう、帰りの際にはご確認ください。
- ・屋外移築復元家屋も大切な文化財です。建物内には上がることはできません。

よくある質問

Q：大型バスを停める駐車場はありますか？

A：1台もしくは2台程度なら、博物館駐車場に停めることができます。ただし、混雑する時期は広見公園大型駐車場をご利用ください。

3台以上でお越しの場合は、広見公園大型駐車場をご利用ください。

Q：お弁当を食べる場所がありますか？

A：お天気のよい日は広見公園をご利用ください。（ごみは必ずお持ち帰りください。）

雨天の場合、当館会議室をお貸しすることができます。（60名程度。それ以上についてはご相談ください。）ただし、当館の都合でお貸しできない場合もございますので、事前にご確認ください。

Q：遠足を予定していて、雨天のときだけ利用したいというような申込みもできますか？

A：雨天時利用だけの申込みも可能です。通常利用と同様に博物館利用申込書をご提出ください。

【体験学習】 【出前授業】

利用の手続き

電話で仮予約

(☎0545-21-3380)



博物館利用
申込書の提出



事前打合せ

学校からお知らせいただくこと

- ・学校名 ・学年 ・人数 ・希望日時
- ・窓口となる先生のお名前 ・その他(学習の目的・内容など)

内容によって異なりますが、実施日の2~1ヶ月前までにお申込みください。

博物館利用申込書は本手引書 P12 をコピーいただくか、富士市立博物館ホームページからダウンロードしてください。

提出は FAX でもかまいません。(FAX0545-21-3398)

学校の要望を聞きながら、内容や構成について打合せをします。(電話予約のみの対応はいたしません。)

- ・体験、授業の計画書(詳細のわかるもの)等をご用意ください。
- ・体験学習のなかには材料費の実費負担を伴うものがあります。
- ・材料の対応可能人数、職員の勤務状況などによりすべての要望に対応できない場合がありますが、ご了承ください。

富士市立博物館体験学習例

体験名	会場	申込期限	内容と諸注意	所要時間
紙すき体験	博物館 または 学校	1ヶ月前	地域の主要な産業である製紙産業と、伝統工芸の紙すきへの理解を促すには最適の体験です。 ・原料は三椏、木材パルプの2種類です。 ・体験料として1枚につき50円、体験当日にお支払いください。 ・学校を会場とする場合は、水が使用できる教室をご用意ください。	1クラス 1時限
火おこし体験	博物館 または 学校	見学申込み時	古代体験のひとつとして、弓ぎり式の火おこし体験ができます。 ・見学時に体験することが可能です。打合せ時にお申込みください。 ・道具に限りがございますので、1回につき、あらかじめ10グループ以内に班分けしてください。	約30分 ～1時間
石器作り	学校	2ヶ月前	古代体験のひとつとして、打製石斧を利用した突き鉋を作ります。 ・原則として、材料・道具等は学校でご用意ください。 ・前期・後期それぞれ2校の実施となります。(先着順)	約30分 ～1時間
縄文土器作り	学校	2ヶ月前	古代体験のひとつとして、500gから1kgの粘土を使い、縄文土器を作成します。(成形のみ。焼成は別になります。) ・粘土は学校でご用意ください。 ・前期・後期それぞれ2校の実施となります。(先着順)	約2時間
勾玉作り	学校	1ヶ月前	古代体験のひとつとして、サンドペーパーや金属ヤスリで滑石を削り、勾玉のペンダントを作ります。 ・材料(滑石・サンドペーパー等)は学校でご用意ください。	約2時間
アングイン編み	学校	2ヶ月前	古代体験のひとつとして、毛糸や麻紐を使い、昔の人たちの布作りを学びます。 ・道具に限りがございますので、あらかじめ5グループ以内に班分けしてください。 ・材料(毛糸・麻紐等)は学校でご用意ください。	約1時間 (コースター制作の場合)
野焼き体験	学校	2ヶ月前	で作成した土器を古代の方法で焼き上げます。あぶり、本焼成に時間がかかりますのでその間に、 、 、 などの体験を取り入れるとより効果的です。 縄文時代のクッキー作りや縄文土器を利用してじゃがいもなどを煮ることもできます。 ・野焼き可能な場所の確保をお願いします。 ・材料・道具等は学校でご用意ください。 ・前期・後期それぞれ2校の実施となります。(先着順)	終日
脱穀体験	博物館 または 学校	1ヶ月前	穀物の脱穀を昔の道具を使っておこないます。 ・精米はできません。 ・稲等は学校でご用意ください。	1クラス 1時限
職場体験	博物館	1ヶ月前	博物館の仕事を1日体験していただきます。	終日

上記以外の内容でも、要望に応じた対応に努めていきたいと考えています。遠慮なくご相談ください。



火おこし体験



石器作り体験



縄文土器作り体験

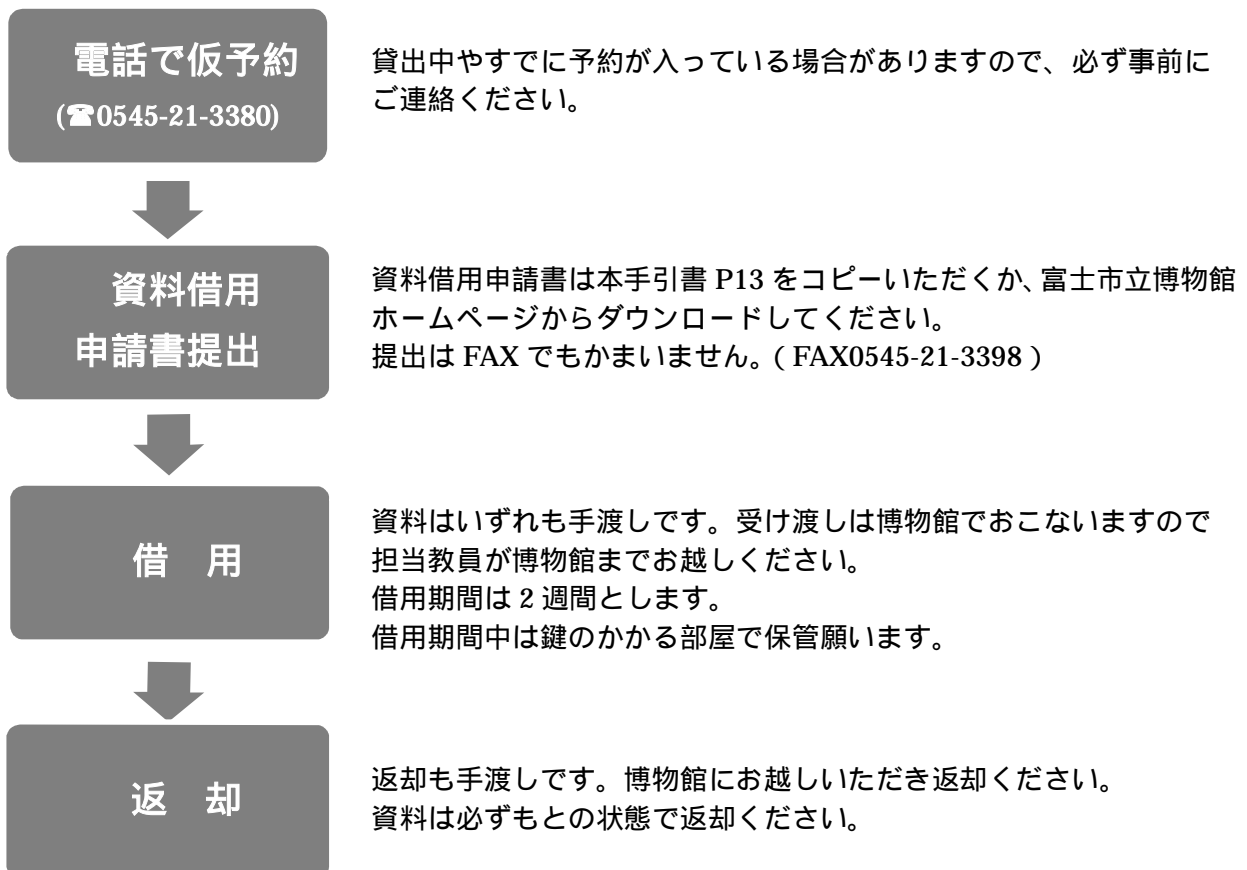
富士市立博物館出前授業例

分野	内 容 (主 題)
考 古	渡来人が伝えたもの 富士市の遺跡 富士市の古墳
歴 史	ロシアの黒船ディアナ号 宿場吉原のようす 浮島沼開発
民 俗	浮島沼を拓く 木を育てる むかしのくらしと道具 富士市の林業と水産業 お茶について 水について 養蚕について
製 紙	地場産業としての製紙業
富士山	富士山の成り立ち 富士市の地形 富士山信仰 富士山登山道
その他	博物館における仕事 フィールドワークの方法について

上記以外の内容でも、要望に応じた対応に努めていきたいと考えています。遠慮なくご相談ください。

【資料・備品貸出】

利用の手続き



貸出資料一例

	資 料 名	
レプリカ・実物資料	考 古	縄文土器 縄文土器片 弥生土器 奈良時代瓦 黒曜石など
	歴 史	火縄銃 太平洋戦争中の衣類、鉄兜、日用品 ディアナ号乗組員救助図など
	民 俗	傘 着物 洗濯機 湯たんぼ 柱時計 ラジオ 陶器製アイロン おひつなど
	製 紙	楮(原木、甘皮、白皮) 三桎(白皮) 雁皮(甘皮)
体験道具	考 古	火おこしセット
	民 俗	ショイコ 桶 分銅 天秤棒 洗濯板 たらい 千歯こき とうみ 足踏脱穀機 石臼 木箱 ふるい ハケなど
	製 紙	手すきセット(すげた、コンテナ、攪拌棒)
VTR (各 15 分程度)	考 古	富士市の古墳
	歴 史	曾我供養祭
	民 俗	石に刻んだ心 鶴無ヶ淵神楽 吉原祇園祭など
	製 紙	紙ができるまで 富士市の製紙業など
写真・パネル		特別展示等で使用した写真やパネルが各種あります。

上記以外の資料でも貸出可能な場合がありますので、遠慮なくご相談ください。

貸出にあたっての諸注意

- ・使用目的および管理上の理由から貸出をすることが適当でないとは判断されたときは、貸出をおこなうことができません。
- ・転貸することは禁止します。
- ・申請期日までに資料を返却できなくなった場合は、速やかに連絡してください。
- ・損傷・亡失したときは、速やかに連絡してください。場合により同等品で弁償していただくことがあります。
- ・借用期間中は必ず鍵のかかる部屋で保管願います。

【見学】【体験学習】【出前授業】【資料貸出】の詳細、実績については、富士市立博物館『館報』を参照してください。

富士市立博物館本館のご案内

富士市立博物館では、「富士に生きる - 紙のまちの歴史と文化 - 」をテーマに、様々な資料の収集や保存をはじめ、資料の調査研究、展示室での公開、体験学習や講座などを行っています。
本館には、第1展示室・第2展示室の2つの常設展示室と特別展示室があります。

第1展示室

富士山南麓の地に生活してきた人々の歴史や文化について、時代別に展示してあります。



縄文時代の人々

天間沢遺跡など、代表的な遺跡をジオラマや出土品で紹介。



稲作の始まりと古墳時代

弥生時代の農耕具と古墳の副葬品の数々。



律令時代

遺跡から出土した資料により、富士郡衛と三日市廃寺を紹介。



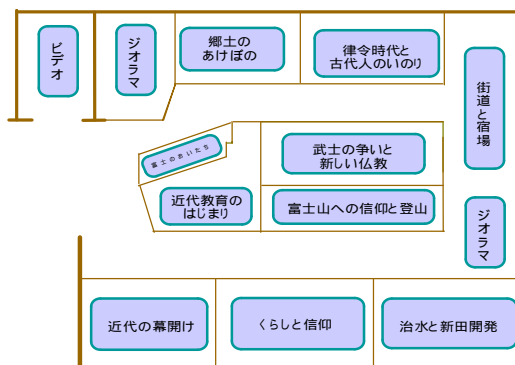
武士の争いと新しい仏教

鎌倉時代から戦国時代に至る動乱の時代の資料。



吉原宿

2度の所替えを行った東海道吉原宿。機能や名物を紹介。



治水と新田開発

水とのたたかいを、ジオラマで紹介しします。



近代教育のはじまり

明治時代の教科書や、学校の写真など。



近代の幕開け

ディアナ号が語る開國の歴史。郷土とのかかわり。



富士山信仰

修験の拠点として栄えた村山浅間の盛衰を今に伝える資料。

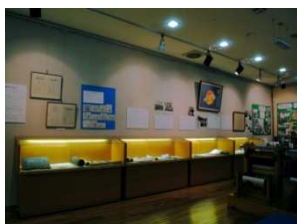
第2展示室

富士市の地場産業である「紙」について、なかでも洋紙業の歴史・変遷・製造工程を取り上げて展示しています。



紙ができるまで

チップサンプルや、抄紙機の模型などを展示。



富士市の製紙業

「製紙業のまち」はどのように築かれたか、明治から戦後までの発展の歴史を紹介。



体験コーナー

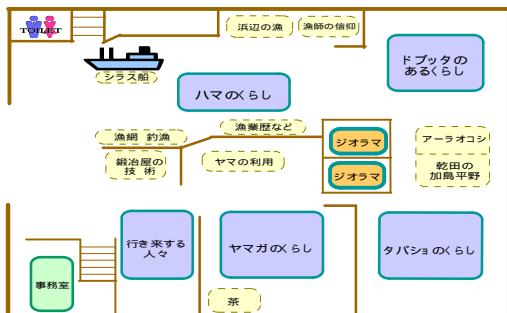
パソコンで「紙のリサイクルクイズ」に挑戦！

特別展示室

企画展・館蔵品展などの展示会を随時開催しています。詳しくは、年間催し物案内、「広報ふじ」等でご紹介いたします。

歴史民俗資料館(博物館分館)のご案内

歴史民俗資料館は、富士市に生きる人々の暮らしを中心に展示しています。民俗の実物資料をはじめ、ジオラマや映像を交えながら、解説を施しています。1階は富士市内各地域の特色をコーナー別に紹介する常設展示、2階は暮らしの道具を実際に使える体験コーナーです。



1階フロア

富士市域は、奥駿河湾の海岸から富士川・潤井川等が作り出したなだらかな扇状地と東部の低地、富士山・愛鷹山連峰へと続く斜面の間に広がっています。

湾岸の漁村から最北の山村まで標高差 800mの間に、人々はそれぞれの地に適した暮らしを営んできました。



ハマのくらし
延縄漁・シラス漁に使われた道具。シラス加工用具も展示。



ドブツタのあるくらし
浮島ヶ原の湿田で使われた農耕用具を展示(県指定文化財)。



豊作への願い
一年を通して行われる、豊作を願うさまざまな行事。



タバシヨのくらし
“加島五千石”米どころの農耕用具をジオラマとともに紹介。



ヤマガのくらし
製茶用具とヤマシゴトの道具。映像もご覧になれます。



行き来する人々
ショイコ・秤など、人や物の行き来に使われた道具を展示。

2階フロア

富士に生きてきた人々の暮らしの道具を、実際に使って体験できるコーナーです。開館時間内に随時体験できます。郷土資料室では郷土の歴史に関する書籍や資料を閲覧できます。ご覧になりたい方は、1階受付までお申し出ください。



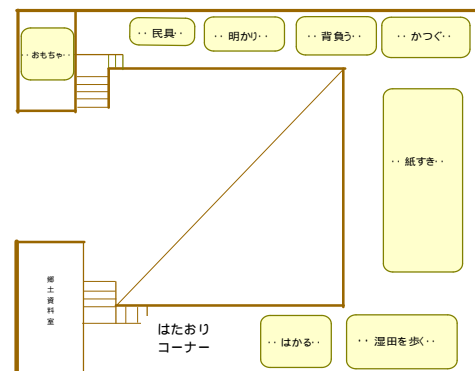
かつぐ
担ぎ棒を肩にのせ、重さやバランスの取り方を体験してみよう。



はかる
昔の計量道具のしくみを学ぼう。



紙をすく
和紙づくりの道具や原料を展示。



富士川民俗資料館(博物館分館)のご案内



南松野桑木野^{かぎの}にあった稲葉家住宅を移築復原。江戸時代中頃の建築とされ、田の字型の間取りで、富士川下流域の農家の典型的な姿を残しています。昭和30年代まで使用されていた民具約200点が収蔵されています。

小休本陣常盤邸のご案内



小休本陣とは宿と宿の間にある間宿^{あいのしゆく}で、主に通行の諸侯や身分のある諸家の休憩のみを目的とした施設をいいます。間宿岩淵には、富士川の渡船待ちもあって、特に小休本陣がおかれていました。常盤家は小休本陣を営むとともに、富士川の渡船役も勤めていました。

居室の一番奥には大名などの賓客が座った「上段の間」と呼ばれる部屋があります。この部屋は隣の部屋よりも床を9cmほど高くし、床の間と違い棚を設け、長押を廻す格式の高い造りとなっています。

富士川民俗資料館・小休本陣常盤邸を見学する場合

- ・富士川民俗資料館および小休本陣常盤邸の開館日は、土・日・祝日となります。平日(博物館開館日)に見学希望の場合は、富士市立博物館までご連絡いただき、博物館利用申込書(本手引書 P12)を提出してください。
- ・富士川民俗資料館および小休本陣常盤邸には大型車用駐車場がございません。(富士川民俗資料館には小型車用駐車場があります。)鉄道・バスなどの公共交通機関をご利用ください。
- ・富士川民俗資料館および小休本陣常盤邸は建物内に上がることはできません。

広見公園内歴史ゾーンのご案内

移築復元家屋等が多数展示されています。ふるさと村全体の見学時間はおよそ 40 分です。



万葉歌碑東歌	7～8 世紀中頃の東国の庶民が歌ったものです。
友好の像	日露和親条約締結 140 周年を記念して、ロシアから寄贈されました。
横沢古墳	伝法沢につくられた古墳。人骨の他、馬具、直刀などの副葬品が出土し、一部は博物館に展示されています。お申込みいただければ石室を見学することができます。
旧独楽荘石倉	興津に建てられた伊藤博文の養子博邦公爵の別荘にあった石倉。大正 9 年(1920)頃。
東平遺跡高床倉庫	東平遺跡は、富士 IC 周辺にあった奈良～平安時代の集落跡です。布自・厨・寺などと書かれた土器が出土し、富士郡の役所とかかわりがあったと考えられています。この倉庫は発掘調査に基づいて復元されたものです。
東平遺跡竪穴住居	火災で焼失したこの住居からは、土器のほか多数の鉄器が出土。集落の中心的役割を持った人が居住していたと考えられています。
原泉舎	明治 6 年に今泉小の前身として使用された仮教場です。嘉永元年(1848)建造。
稲垣家住宅	文化元年(1804)建造。養蚕をおこなうための「兜造り」の屋根を持ちます。
樋代官長屋門	鷹岡・伝法の用水を管理し樋代官と呼ばれた、厚原・植松家の長屋門。
樋代官植松家住宅	の植松家の住宅。幕末期の当時としては珍しい 2 階建てです。
一字一石経王塔	小石に経文の一字を記入して土中に埋め、その上に石碑を建てたものです。
眺峰館	現吉原二丁目にあった、料理店の玄関として建てられた洋風建物。屋根には避雷針がついています。明治 25 年(1892)建造。
道しるべ	富士市内にあった東海道や根方街道などの道しるべ。
小糸のぶ文学碑	明治 38 年(1905)吉原に生まれ、小学校教師を勤めた小糸のぶの脚本の一部です。
旧松永家住宅	平垣にあった豪農松永家の住宅の一部を復元。武家風様式を残す貴重な建物です。安政 4 年(1857)建造。
杉浦医院	現中央町一丁目にあった医院。70 年間に亘って地域医療を担っていました。大正 8 年(1919)建造。

本ページをコピー、もしくは博物館ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

富士市立博物館 利用申込書

館長	僚

平成 年 月 日

富士市立博物館長 宛

学校名

校長名

住所

電話番号 ()

次のとおり博物館を利用したいので、申請します。

日時	平成 年 月 日 () 時 分から 時 分		
内容	【見学】本館・歴史民俗資料館・屋外展示・富士川民俗資料館・小休本陣		
	【体験】火おこし・紙すき・石器作り・土器焼き・脱穀・その他() 職場体験		
	【出前授業】 について		
利用場所	【博物館】本館・歴史民俗資料館・広見公園・別棟体験室()		
	【学校】教室・体育館・校庭・その他()		
学年・人数	学年	クラス	名
教員名			名
教科			
単元名			
昼食	とります (広見公園 ・ その他)		とりません
	雨天の場合()		
備考	予備日 月 日()	担当職員	記入しないでください。 要説・なし
	@ × 名		

博物館 〒417-0061 富士市伝法 66-2

開館時間：4月～10月 9:00～17:00

11月～3月 9:00～16:30

休館日：月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、
年末年始

入館料：大
人 100円(60円)

小中学生 50円(30円)

カッコ内は 20名以上の団体料金

市内小中学校の団体は無料になります。

歴史民俗資料館(博物館分館)

開館時間・休館日は博物館に同じ 入館無料

富士川民俗資料館(博物館分館)

〒421-3305 富士市岩淵 8-1

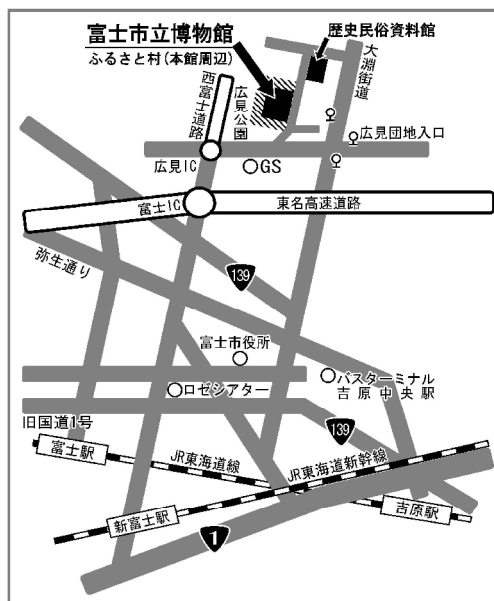
開館日：土・日・祝日

開館時間：博物館に同じ 入館無料

小休本陣常盤邸

開館日：土・日・祝日

開館時間：9:00～16:00 入館無料



JR 線 東海道本線富士駅・吉原駅・東海道

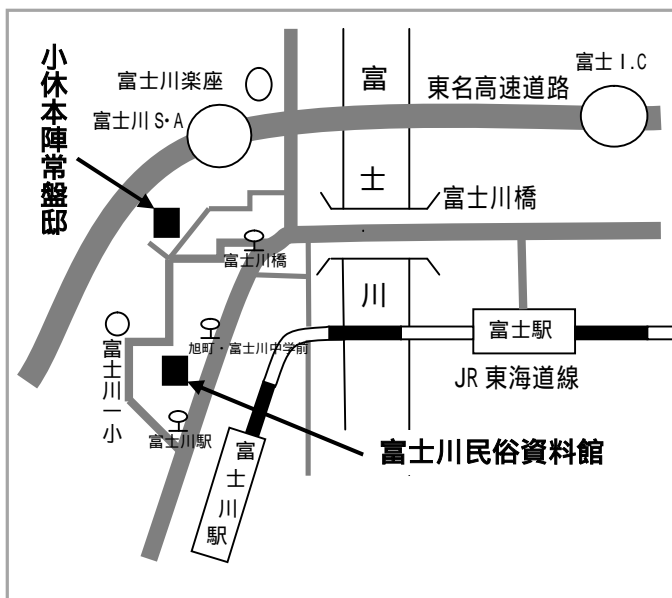
新幹線新富士駅各駅より車で 20分

路線バス 吉原中央駅 3番線で乗車、「広見団

地入り口」下車、徒歩 3分

乗用車 西富士道路「大淵・広見インター」

出口より 3分、駐車場あり



JR 線 東海道本線富士川駅より民俗資料館まで
徒歩 15分(約 1.1km)

民俗資料館から小休本陣まで徒歩 10分
(約 700m)

路線バス 山梨交通「旭町」バス停、富士急「富士
川中学前」バス停より民俗資料館まで徒
歩 5分

山梨交通・富士急「富士川橋」バス停よ
り小休本陣まで徒歩 5分

お問い合わせ

富士市立博物館

〒417-0061 静岡県富士市伝法 66 番地の 2

TEL 0545(21)3380 FAX 0545(21)3398

<http://museum.city.fuji.shizuoka.jp/>

E-mail museum@div.city.fuji.shizuoka.jp